

第2回沖縄におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた懇談会議事概要

日時：令和3年11月22日（月）13：30～15：30

開催方法：WEB開催（那覇第2地方合同庁舎2号館4階事業審査室）

【議事概要】

（議事2：CNP形成に関する最近の動向）

事務局よりカーボンニュートラルに関する最近の状況、CNP形成計画策定マニュアル（ドラフト版）の概要を説明。

（議事3：カーボンニュートラルの取組について）

沖縄総合事務局経済産業部より2050年脱炭素社会実現に向けた取組や第6次エネルギー基本計画の概要、令和4年度概算要求（CN関連）を紹介。

イーレックス株式会社より脱炭素化に向けた取り組みを紹介。

株式会社ユーグレナより脱炭素に向けた取り組みを紹介。

<構成員等>

船舶への燃料供給方法として、現状は軽油当等をバンカリングしている状況であるが、次世代エネルギーの供給方法についてどのように想定しているのか。

また、島しょ型のサプライチェーンを構築するためには、合成燃料（水素とCO₂を合成して製造される燃料）の活用による緩やかな脱炭素化が必要である。

<事務局>

船舶の燃料供給方法としては、国土交通省でLNGバンカリングに取り組んでいる。脱炭素化に向けた燃料供給は、タンクローリーからの供給、陸上ターミナルからの供給、船舶からの供給が考えられるが、ケースバイケースで検討していきたい。

合成燃料の活用についてもCNP形成に反映していきたい。

（議事4：沖縄におけるCNP形成に向けた検討状況）

事務局より、港湾及び周辺地域におけるCO₂排出量、水素・燃料アンモニア等の需要量の推計方法、沖縄におけるCNP形成に向けた方向性案について説明。